

Title	編集後記
Sub Title	
Author	黒田, 裕樹(Kuroda, Hiroki)
Publisher	慶應SFC学会
Publication year	2022
Jtitle	Keio SFC journal Vol.22, No.1 (2022.) ,p.154- 154
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=0402-2201-0154

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

編集後記

本年、5月1日に急逝された中山俊宏先生に謹んでお悔やみ申し上げます。中山先生のご家族、ご親族の皆様のご落胆を思いますと、胸が張り裂けんばかりです。心からご冥福をお祈りいたします。

ゴールデンウィーク明けに知らされた中山俊宏先生の突然の訃報に、SFCの教職員、学生、関係者は皆、絶句し、そして、悲しみに打ち拉がれました。私もその一人でした。中山先生とは分野こそ違えど、奇しくも2人1組で行う仕事のパートナーになる機会が多くありました。卓越した国際政治学者としての姿はもちろん、その誠実さ、格好良さ、そして愛嬌たっぷりのキャラクターに魅了され、今年度も共に仕事をする事、一緒に杯を交わすことを楽しみにしていました。その矢先。今もこのあまりに残酷な現実を受け入れることができません。私のような中山先生のにわかファンですら、これだけの悲痛に苦しむのですから、中山先生と深く関わりのあった多くの方々にとって、この喪失感、悲しみ、辛さは想像を絶するものであったと思います。SFCの教員の中でも、中山先生と特別親交が深かった一人が追悼文をご執筆下さった神保謙先生になります。追悼文の執筆を編集部から依頼することは、落胆されている背にムチうつような蛮行であったかもしれません。編集部の中でも、反対する声は確かにありました。ただ、やはり、慶應SFC学会として、KEIO SFC JOURNAL編集部として、SFCの皆に愛されていた中山先生の様子を、できる限り早くお伝えしたく、最終的には編集長判断として神保先生に執筆を依頼した次第です。快くお引き受け下さった神保先生に心より感謝申し上げます。

本号は、2006年9月に発刊された5巻1号以来、実に16年ぶりに、特集を組まない号としました。本来、学会が発刊する学術雑誌において、毎回特集を組むことが、投稿者の幅を限定している可能性も感じていたためです。その編集部の期待に応じて下さり、今回、4報の研究論文、1報の総説レビュー論文、そして1報の実践報告が掲載されました。近年ない多岐にわたる内容となり、SFC学と呼ぶに相応しいものに仕上がったと思います。神保先生の追悼文に続けて、中山先生の研究会の星野さんの論文が組まれたのは全くの偶然でした（掲載が決定したのは4月16日ですから）。その後、印刷に進む直前の段階にて、編集部より星野さんにご連絡を差し上げ、謝辞の欄に中山先生ついて、さらに言及して下さるようお願いをしました。ぜひ、星野さんの研究論文の謝辞の欄にもご注目いただけますと幸いです。

2022年8月19日

黒田 裕樹

KEIO SFC JOURNAL 編集長